

## 120626 謎の白い虫…

先日、大和葛城山系で、これまで見たことのない“謎の白い虫”に出会いました。  
体長は7mmほど、体型は「ゾウムシ」のようでしたので、その夜、図鑑で調べてみると…

どうも「ゾウムシ」の仲間には、これほど白い種はいないようです。  
そういえば触覚の形が「ゾウムシ」らしくないですし…

ネットで色々なキーワードをいれて検索を続けていると…

ついにあの“謎の白い虫”にそっくりな虫が見つかりました！  
「リンゴコフキハムシ」という名の虫です！

どおりで「ゾウムシ」の仲間を調べても当たらないはずです(-.-)

でも… 名前に「リンゴ」とつきますが、この周辺にはリンゴの木などほとんど植えられて  
はいないと思うのですが…

このように、この虫、特にリンゴの木で多く見られる、という訳でもない（クヌギ・ケヤキ・  
オニグルミ・エゴノキなどを好む）みたいですので、別名「コフキサルハムシ」とも呼ばれてい  
るそうです。

実は体色は“黒色”なのですが、背面を白粉で覆われるので“真っ白”に見えるのです。

でも、白粉に覆われているのは羽化してそれほど時間の経っていない個体だけで、だんだん  
とその白粉は剥がれ落ちていって、やがて地色の真っ黒な体へと変わっていくのです。

では一体何のために“白粉”に覆われる必要があるのでしょうか？  
緑の葉の上では、すこぶる目立つので、やめた方がいいと思うのですが…

まったく謎ですね…  
(図鑑にもその理由は掲載されていないようです)

